

平成30年3月19日

定期的確認結果（公示）

大学共同利用機関法人自然科学研究機構 機構長選考会議

大学共同利用機関法人自然科学研究機構長の定期的確認結果について、大学共同利用機関法人自然科学研究機構機構長選考等規則第11条第5項の規定に基づき公表する。

記

1 定期的確認結果

平成28年度における小森機構長の業務執行について、適切に執行されていることを確認した。

2 理由

小森機構長は、「国際共同研究を通じて世界最高水準の自然科学研究を推進」及び「世界最先端の共同利用・共同研究環境を用いて大学等の研究力強化に寄与」を目標として掲げ、これらの実現に向けた各種取組を通じ、優れたリーダーシップを発揮した。

【主な取組】

- ・ 自然科学共同利用・共同研究統括システム（NOUS）の構築を進め、国際的かつ先端的な共同利用・共同研究を推進
- ・ 自然科学大学間連携推進機構（NICCA）を立ち上げ、大学の意見も反映したネットワーク型共同利用・共同研究を更に推進・発展
- ・ 研究力強化推進本部長に自ら着任し、機構の研究力強化にリーダーシップを発揮
- ・ 外国駐在のURAを採用し、国際的先端研究を推進支援

特に、小森機構長が研究力強化本部長として主導している「研究大学強化促進事業」については、文部科学省の中間評価結果において、「研究力強化の目標とそれを支えるIRに

よる研究力分析を元にした戦略立案、大学研究力強化ネットワークの設立をはじめとした、多くの研究機関との研究力強化に向けた連携などの実施により、当初計画以上の成果が見込まれる。今後の発展が期待できることから、高く評価できる。」との全体に対する所見が示され、評定区分において「S」の評定を受けている。

今後も、大学共同利用機関法人である自然科学研究機構には、自然科学の新たな展開を目指した新しい学問分野の創出とその発展への積極的な取組を期待したい。